

プレイヤーの特徴

テーブルに着いたとき、私は常に対戦相手を分類し、相手がどんなプレイをするのかを探っている。一生懸命にその作業に取り組み、得られた情報を駆使することで、多くの場合、優れた決断を下せる。

相手は目の前のカードだけに心をとらわれているような初心者か、それとも私の目をそらすためにさまざまなレベルの心理学を駆使するプロのトッププレイヤーだろうか？

「ノーフォールデム・ホールデム」なのか、それとも、プレミアムハンドを忍耐強く待つ「ロック」なのか？ 何でもかんでもベットを仕掛けてくるアグレッシブプレイヤーなのか。それとも、どんなブラフに対してもけってフォールドしない「コーリングステーション」なのか？ 最近、大きなポットを獲ったのか、あるいは大きく負けたのか？ ティルトに陥っているのか。

配られたカード以外にも、ずっと多くの要因について考えなくてはならないのは明らかである。本書に収録されたハンドでは、相手について得られた情報で最も大事だと思われるものも書き記した。図に書いてあるスタックサイズ（持ちチップ量）は、ブラインドとアンティを払い、アクションを行ったあとのスタックサイズである。



ワールドシリーズオブポーカー（WSOP）やワールドポーカーツアー（WPT）のようなトーナメントは、ニュースの見出しを飾る。しかし、キャッシュゲームこそが“本物”のポーカーであると信じている純粹主義者も多い。

キャッシュゲームなら、バッドビートで飛ばされて閉め出されることはない。少なくとも、財布に金がある限りの話だが。ショートスタックの存在や、ブラインドやアンティが上がるといった人為的制約もない。相手から効率良くチップを奪うことが最適な戦略となる。（特にこれで食っているプロにとって）一番のポイントは、長い目で見れば上手いプレイヤーが最後には勝ち、下手なプレイヤーは最後には当然の報いを受けるということである。

キャッシュゲームの本質は、長期的な結果にある。したが

ってその目的は、少しでも期待値がプラスとなる決断を下すことである。トーナメントにおいては、確率的にわずかに有利（例えば勝率が55%対45%）だとしても、負けたら飛んでしまうという状況ならば全チップを突っ込んで“ギャンブル”をするのは、一般的に言って間違いとなる。

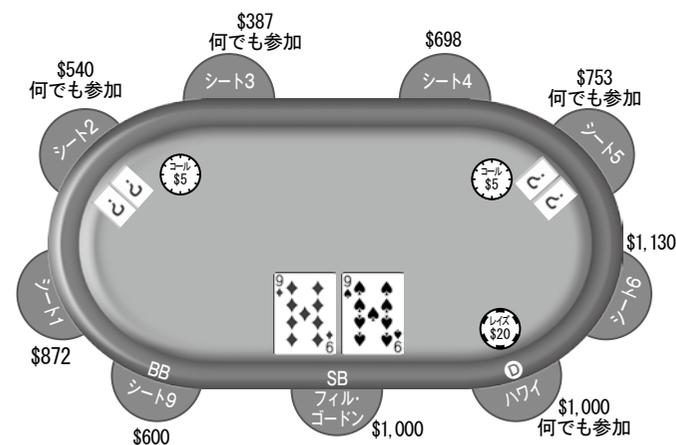
それに対して、キャッシュゲームでは、十分なバンクロール（資金）がある限り、統計上有利なプレイは常にベストプレイとなる。もちろん運に見放されることはあるだろうが、一貫してクオリティの高い決断をするプレイヤーは、短期的な変動があっても生き残り、次第に優位に立つことだろう。願うことなら、ずっと優位に立ちたいものだ。ずっと、ずっと優位にだ。

◆アロハ、フルハウス！

シチュエーション／金曜の夜、ラスベガスのパームスカジノにて。酔っ払った9人のプレイヤーによる、ルーズなノーリミットキャッシュゲーム。

——ノーリミットホールデム——

ブラインド \$2/\$5	ポット \$37	コールに必要な額 \$18	ポットオッズ 2.1対1 (3.1倍)
------------------	-------------	------------------	------------------------



私は参加人数が多いときに、ポケットペアをプレイするのが大好きだ。ここではフロップでセット（またはそれ以上）を完成させて、ビッグポットを勝ち取るチャンスを得るか、あるいはフロップで何も当たらずに、スタックに大したダメージを受けることなく逃げるかのどちらかとなる。

アクションは鮮やかな色の花柄シャツを着たシート7の中年男、“ハワイ”の番である。この格好は反則になってしかるべきだ。これのおかげで気が散ってならない。南国ムードに則ってなのだろうか、彼は、バケツ1杯分はあるかというほどのピニャ・コラーダを注文している。彼は\$20にレイズした。

その時点での私に与えられたポットオッズは、十分なものではなかった。ポットオッズは約2対1（約3倍）。フロッ

プでセットかそれ以上を完成する確率は、約9分の1程度しかない。しかし、インプライドオッズは申し分ない。もしハワイが何らかのハンドを持っていて、私がセットを完成させたならダブルアップ（持ちチップを倍にする）できる可能性も高い。ハワイのスタックが\$1,000あるのは、私にとっては喜ばしいことだ。

私はレイズにコール。シート2とシート5も続いた。ポットには\$85ある。

※監修者注

日本の公営競技においては、払戻金の倍率のことを「オッズ」と呼びます。例えば、100円の馬券を買って当たれば310円になる場合、「オッズは3.1倍だ」と表現します。一方、欧米では同じ状況を「オッズは2.1対1（配当対掛け金）」と表現します。

これは日本ではなじみのない表現のため、やや理解しづらく、また特に理解する必要もありません。よって、本書では、より分かりやすくするために、原文にある欧米式のオッズ表現（○対○）に加え、日本式の表現（○倍）も併記することにしました。

また、より読者の皆さんがイメージしやすいように、フロップ、ターン、リバーの冒頭にポット額を追記しています。

—フロップ—



[ポット \$85]

ありがとう
マハロ！ そう叫んでフラダンスを踊りたい衝動を抑えた。

アメリカのバンド、クール・アンド・ザ・ギャングの「セレブレーション」が無意識のうちに頭の中を流れ始めた。ここでは、どうやって相手から最大限のチップ量をひっぱり出すかというのが、鍵となる。ベットか、スロープレイか。

あなたならどうする？

私は決断を行うためのプロセスとして、このハンドがどのように展開されそうかをイメージした。プリフロップでのオリジナルレイザーであるハワイは、ベットしてきそうだ。私は彼からいくらかの額を引き出せるだろうことは確信している。しかし、それでは物足りない。真ん中の2人のプレイヤーも同じく罠にかけたい。

ハワイが私のすぐ左にいたら、私は恐らくチェックしただろう。彼にベットをさせ、真ん中の2人がコールすることを望んで。そしてアクションが私に戻ったとき、レイズをして3人とも罠にかけるのだ。しかし今回はハワイが最後のアクション順なので、先に間の2人を罠にかける必要がある。私はここで小さいベットをし、真ん中の1人か2人がコールすることを願い、ハワイがレイズするのを祈った。

私は\$20をベット。シート2とシート5がコール。完璧だ！
ハワイは\$150にレイズ。バカめ！ 計画は完璧に成功した！

ポットには\$295ある。私がコールするには、もう\$130が必要だ。

テレビドラマ『特攻野郎Aチーム』の登場人物“ハンニバル”スミスが、Aチームにこう言ったものだ。「作戦が実を結ぶこの瞬間が大好きだ」と。さて、私はここでコールをするべきか、それとも、リレイズして一撃を加えるべきか。

あなたならどうする？

私はここで、3つの理由からリレイズしたい。

- ①ハワイのレイズは、恐らく残りの2人を怖がらせ、追い払ってしまうのに十分な額だ。このため、彼らを長く残そうとすることに意味はない。
- ②ハワイがA♣K♣といったフラッシュドローを持っていたら、喜んで有り金全てをポットに入れてくるだろう。フラッシュドローを持っておらず、ターンでクラブが出たら彼は降りてしまうかもしれない。
- ③ハワイが、カジノを訪れるアロハシャツを着た観光客がやりがちのように、TT、JJ、QQといったオーバーペアでオーバープレイやりすぎなプレイをしているならば、ターンでオーバーカードやフラッシュカードが出たら、彼の全てのチップを奪うのは難しいだろう。もしオーバー

ペアなら、ハワイは直ちにオールインするだろう。

私はリレイズして、彼に溶岩へ飛び込むチャンスを与えることに決めた。

私は\$300にリレイズ。シート2とシート5は素早くフォールド。ハワイは躊躇せずオールイン。ルアウ※の時間だ！ 私があまりにも勢いよくチップをテーブルの中央に押しやったものだから、フェルトに跡が残るほどだった。相手はやや呆然としながら、オーバーペアであるポケットクイーンを開いた。彼のドローはわずか2アウトである。ターンとリバーは無難にK♣とJ♣。私は両手でポットをかき集めた。

「あんたをフラッシュドローだと睨んでいたんだがな」。ハワイは最後の酒を飲み干し、チェリーをかき出している。

思い返せば、フロップで動いておいたのが良かった。もし、オールインをターンでやっていれば、コールされなかったかもしれない。ビッグフィッシュから勝ち取った\$1,000に比べると、追加の\$40は小さく見える。しかし、フロップでチェックしていたら取れなかったに違いない。その\$40は、アントニオ“ミスター・ボトルサービス”エスファンディアリと数時間後にゴーストバーで落ち合うときに重宝するだろう。

私は彼と30回は出かけているが、毎回少なくとも\$500は使う羽目になっている。アントニオはテーブルでもテーブルの外でも、バンクロール破壊マシンなのだ。

プレイヤーの次のアクションを考える。彼らのうちの誰かが、私がいままさに考えている“^{レイズ・ザ・リンパーズ}リンパーにレイズ”をするだろうか？ このケースにおいては、そこまでの^攻アグレッションや^技スキルを示してきたプレイヤーはいないから、答えは恐らくノーだろう。しかし、もし1人でもレイズすれば、私はフォールドするつもりだ。

私はボタンから\$5をコール。スモールブラインド(SB)が、ブラインドを完成させるために\$3を投げ、ビッグブラインド(BB)がチェック。プレイヤーは6人、ポットには\$30ある。

——フロップ——



[ポット \$30]

これは私にとって危険なフロップである。私は急いで頭の中で計算した。

^{ローエンド}下側のストレートドロ

+ 脆弱なフラッシュドロ

+ 5人のルーズな相手

私が多額の金を失う完璧な機会

5人のプレイヤーが、私までチェック。ベットすべきか、

それともチェックすべきか。

あなたならどうする？

分かっている。私はこれを危険なフロップだと述べた。しかし、全員が弱みを示しているというのに、ポットを取りにいかない手はないだろう？

フロップで自分にポジションがあり、ドローを持っていて、まだたくさんプレイヤーが残っている場合、私は大抵チェックをして、ただでターンを見る。しかし、この状況で私は大したドローを持っていない…というか、お世辞にも完成しても嬉しいとは言えないドローをいくつか持っているだけだ。

まず、対戦相手がリンプインしそうなハンドをいくつか考えてみよう。キッカーの弱いエース、ミディアムポケットペア、スーテッドカードあるいはコネクター。

ターンでハートが落ちればフラッシュになる。しかし、T♥かそれ以上のカードを持つ者に、より強いフラッシュを作られてしまう。また、Tが出たら私はストレートになるが、QJやJ7を持つプレイヤーにはより大きなストレートができてしまうのだ。

私が本当に望んでいる唯一のカードは、ハート以外の5である。3枚の“確実な”アウトがターンで私を安心させてくれる確率は6%。誰かがフロップでフラッシュを完成させ、スロープレイをしていて、私がすでに^{逆転不能}ドローイングデッドの可能性も十分にある。

もしポットが欲しいなら、すぐに狙ったほうがいい。ポット額の半分から4分の3をベットすれば、スモールフラッシュやストレートドロでコールするのは“誤り”となる。ここで「誤り」という言葉を引用符に入れたのは、もし誰かが私にどんな手があるか分かっていたとしたら、コールすることが正しくなるだけでなく、私にもっとポットにチップを入れさせようとしてくるだろうからだ。だが幸いポーカーは、手札を見せてプレイするわけではない**。

私はポットの半分である\$15をベット。BBのみコールし、ほかは皆フォールド。ポットには\$60ある。

これは、それほどひどい結果とはいえない。テーブルで最低のプレイヤーが、私とポットの間立ちはだかっているだけなのだから。誰かが私の頭に銃を突きつけ、彼のハンドを推測しろと言うなら、私は彼がA♥と弱いキッカーを持っていると言うだろう。

——ターン——



[ポット \$60]

私にとって悪いカードではない。私がトップペアを持って

**唯一例外となる人物がいる。彼はポーカー界の“味方”である。ケーシー“フロップ” トンプソンは \$400/\$800のリミットホールデムで、自分の手札をゲーム中ずっと開いたままでプレイする。全てのゲームでだ。皆さんの想像どおり、彼はカジノで大人気だ。

いると相手が思っているなら、もっと強いハンドになったと思ってくれることになる。もし私が疑っているとおりに、彼が、私が何のカードを持っているかより、自身が良いカードを引くことに関心が向いているなら、このターンカードは恐らく彼が望んだカードではなかったはずだ。BBがチェック。

あなたならどうする？

私がいまベストハンドを持っていないことはほとんど確実だが、相手はそれを知らない。彼には私がリードしていると思われたい。そしてターンカードが私を助けたと思ってほしいのだ。

もし実際に9♦が私の助けになっていたとしたら、私はこのハンドをどうプレイしたでしょうか？ 多分、かなりの額のベットをして、そこでポットを取ってしまおうとしただろう。

私は2発目を投じ、\$40をベットした。BBはすかさずコール。ポットには\$140ある。彼は何らかのフラッシュドロを持ってに違いない。恐らく、ナッツフラッシュドロを。

——リバー——



[ポット \$140]

私にとっていいカードが出た。あるいは、少なくとも私がリプレゼン^{見せかけ}しようとしているハンドにとっては。BBが、

ナッツフラッシュドローか何らかのストレートドローなら、未完成に終わった。

彼はチェック。再び決断のときがきた。3発目のベットを投じるか、それとも諦めるか？

あなたならどうする？

考えるまでもないことだが、私の7ハイはショーダウンで勝てるなんてまずあり得ない。だから、彼はドローを逃したという読みを信じるか、あるいはポットを譲り渡すかである。

私はポットを譲る気はない。彼がモンスターハンドをスロープレイしているなら——、すぐに分かることになる。私は心の中で銃を抜き、勇気を出して\$70をベット。その\$70はフロップでフラッシュを、あるいはターンで9のトリップスを完成していたら、ベットしていたのと同じ額である。私のベットはゲームを通じて一貫している。

BBはツイてないとボヤキ、A♥をちらりと見て、ハンドをフォールドした。

「ラッキーフロップだったよ」。私は彼のチップを自分のチップに加えながら言った。将来のゲームのために、私はこのプレイヤーが「チェックコーラー」であり、非常にパッシブなプレイをすることを心に留めておこう。

❖ポイント解説❖

スケアボードは、使い方によっては心強い味方になって

くれる。相手のハンド^{レンジ}を絞るのに利用したり、あなたのベットに一貫したストーリーを持たせることができるなら。

◆マインドゲーム

シチュエーション／金曜の午後、フルティルトポーカーにて、6人のプレイヤーによるキャッシュゲーム。アグレッシブなプレイヤーが主役となっている。

——ノーリミットホールデム・キャッシュゲーム——

ブラインド \$5/\$10	ポット \$25	コールに必要な額 \$0
-------------------	-------------	-----------------

